15

卅三年一月十六日接受　主管　政務局　通商局　杉村

受第三九〇号

太平洋海底電信法案逓信省ニ送付ス

公第百十九號

行政当局ハ議会ヘ提出セントスル布哇施政法案、商業航海業ニ関スル法律ヲ布哇ニ実施スル法案、太平洋海底電線沈設ニ関スル法案、及ヒ航海奨励法案ノ法文今日手ニ入ラサルニ付為参考各部差進申候

右布哇施政法案ハ前期議会ニ於テ両院会ノ修正ヲ経タルモノヲ其侭今回議会ニ提出シタルモノニ有之候

商業航海ニ関スル法律ヲ布哇ニ実施スル法案ニ関シテハ若シ本案通過ノ上ハ外国船舶ハ布哇米国本土間ノ沿海貿易ニ従事スルコト能ハサルニ至ルヘク従テ本邦航海業ニ影響ヲ及ホス義ニ有之候ニ付本使ハ出来得ル丈ケ之レカ通過ヲ妨遏スル手段ヲ執ル考ニ有之候

太平洋海底電線沈設ニ関シテハ官設ト私設トノ二案提出相成候

右ノ外契約労働者ヲ禁止スル法律ヲ布哇ニ実施スル法案モ下院ニ提出セラレ候

以上四法案文相添ヘ此段申進候敬具

明治三十二年十二月十五日

在米

特命全権公使　小村寿太郎

外務大臣子爵　青木周蔵殿

在米國日本公使館